令和4年6月21日14時00分
近畿地方整備局
木津川上流河川事務所
伊賀市

伊賀市と国交省の合同による 災害対策用機械操作訓練を行います

～豪雨による浸水被害の軽減に備え合同による排水ポンプ車などの操作訓練を行います～

本訓練は、出水期(6月15日～10月15日)を迎えるあたり、伊賀市と合同で伊賀市及び国土交通省木津川上流河川事務所が保有する排水ポンプなどの災害対策機械の操作の熟知を図り、実際の浸水現場等での的確な運用ができる様に訓練を実施します。

- 日時: 令和4年6月23日(木)14時00分～15時30分(小雨決行)
- 場所: 伊賀市小田町地先 服部川左岸 小田排水機場(伊賀上野橋より下流側)
- 実施機関: 伊賀市、木津川上流河川事務所
- 訓練機械: 【伊賀市】排水ポンプ車1台
【国交省】排水ポンプ車2台、対策本部車1台、照明車2台、
衛星通信機器(Ku-SAT II)1台
- 取材について
取材については訓練の支障とならないように現場担当者の指示に従って下さい。

<取扱い> _____

<配布場所> 伊賀記者会 名張市政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局木津川上流河川事務所

副所長(技術)

矢間 孝司

工務課長

前田 竜治

TEL 0595-63-1611

FAX 0595-64-1238

伊賀市

建設部次長兼建設管理課長 福田 康彦

TEL 0595-22-9723

FAX 0595-22-9724

伊賀市と国交省の合同による 災害対策用機械操作訓練のお知らせ

1. 操作訓練の目的

国土交通省では、台風や地震等による災害での迅速な被害状況の把握、被害拡大の防止や早期復旧のため、排水ポンプ車、対策本部車、照明車、衛星通信機器(Ku-SATⅡ)などの災害対策用機械を全国に配備し運用を行っています。

令和元年10月の台風19号による氾濫など、近年台風の大型化等により全国的に大きな被害をもたらしている状況です。木津川上流河川事務所においても、千曲川氾濫の災害出動や伊賀市内の内水排除の現場に排水ポンプ車、照明車を派遣し自治体支援を行っています。

こうした災害に備えるべく、排水ポンプ車、照明車、対策本部車、衛星通信機器の災害対策用機械を迅速かつ円滑に運用を図るため操作訓練を定期的実施しています。

この合同訓練は、伊賀市との連携を深めるため平成26年から行っており、今回で9回目となります。

平成29年10月の台風21号で、はじめて洪水を貯留した上野遊水地によるハード対策と今回の合同訓練によるソフト対策を併せて万全の防災体制を図っています。

2. 訓練概要

- 1) 訓練日時: 令和4年6月23日(木) (小雨決行)
14時00分～15時30分
なお、訓練中止の場合は当日の午前10時に決定します。
- 2) 訓練場所: 伊賀市小田町地先 服部川左岸
小田排水機場 (伊賀上野大橋より下流側)
- 3) 訓練機械: [伊賀市]排水ポンプ車 1台
[国交省]排水ポンプ車2台、照明車2台、対策本部車1台、
衛星通信機器1台
- 4) 訓練内容: ①排水ポンプ車の設置及び排水操作訓練
②照明車の設営訓練
③対策本部車の設営訓練
④衛星通信機器(Ku-SATⅡ) の設営通信訓練

注) 訓練当日13時45分から取材の皆様へ訓練概要を説明します。

今回の訓練に参加する災害対策用機械

照明車

対策本部車(拡幅式)

排水ポンプ車

Ku-SAT II

次世代衛星通信システム (Ku-SAT II)

ひとりで運べる小型・軽量衛星通信システム
 平面アンテナの採用により、設置、衛星捕捉、運用は簡単で、**設置から約5分**で送信準備を完了することが可能

平面アンテナを採用したコンパクト設計
 本体のみ
約22kg

Ku-SAT II
 国土交通省
 近畿地方整備局

システムイメージ

現場の無操作は不要

運用、設置、衛星捕捉が容易なため、運用に特別なスキルは不要

電池とLANケーブルのみの接続で、設置から送信準備完了まで約5分

雨の中でも運用可能

メール、インターネット、TV会議など、高速IPデータ伝送が可能

新旧 Ku-SAT の比較

	旧 Ku-SAT	新 Ku-SAT II
伝送速度	64kbps	32kbps ~ 2048kbps
伝送内容	画像、音声	画像、音声、メール、データ、TV会議
送信	コマ送り	ハイパフォーマンスコマ送り (円滑)
設置時間	30分 ~ 40分程度	5分程度
送信機	電源機1台、カメラ1台	電源機2台、カメラ1台、PC
重量	90kg	50kg以下 (トランク、履携可能)

伊賀市と国交省の合同による災害対策用機械操作訓練 訓練場所 位置図